

令和 6 年 7 月 3 1 日

令和 5 年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
塩竈市立浦戸小学校（外 校）	塩竈市教育委員会	公

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
塩竈市立浦戸小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/2277urato/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E7%B4%B9%E4%BB%8B?

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL
塩竈市立浦戸小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/2277urato/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E7%B4%B9%E4%BB%8B?
	学校関係者評価結果の公表 URL
	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/2277urato/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E7%B4%B9%E4%BB%8B?

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施できている ・ 一部、計画通り実施できていない ・ ほとんど計画通り実施できていない
--

(2) 実施状況に関する特記事項

※ (1) で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

学校だよりや学級だよりを通して、特別の教育課程に係る活動状況を報告しているほか、懇談会や学校説明会、学校評議員会などの場で、活動内容の説明と報告を行っている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

「浦戸探究科」では、小学校1学年から6学年の発達の段階に応じたテーマや課題を設定し、体験を通じた探究的な学習活動を行っている。活動を通して、自ら判断し、よりよい考え方や生き方を主体的に求める児童生徒の育成を目指している。そのために、豊かな自然環境や地域人材を活用し、探究的な学びと様々な体験活動を行うことで、郷土愛や自然を大切にしようとする心情を育むことができる教育課程を編成している。

令和5年度は、自然環境の保全に対する意識を高めるアサリ採取や地元住民の協力の下での海苔すき体験、カヌー体験・洋上巡り体験などを実施した。また、全校で取り組む創作演劇活動の内容に沿ったテーマを各学年が設定し、それぞれ探究活動に取り組んだ。体験を通して、学校教育目標である、主体的に学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成を図ることができた。今後は多大なる地域からの協力に対して、児童一人一人が地域に貢献していこうとする態度の育成が求められる。

外国語教育の充実については、中学校での英語学習への緩やかな接続を目指している。中学校の英語科教員の乗り入れ授業を行い、音声中心の活動を通して外国語に親しみを持てるような教育課程を編成している。低学年からの外国語活動を年間指導計画に位置付け、活動の充実を図ることができた。

本校は、小中学校が併設されているため、小中学生が様々な活動で交流している。外国語の授業においても、小中学生の交流を活発に行い、中学校の英語の学習にスムーズに移行できるようにしていきたい。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

「浦戸探究科」の学習を通して、学習指導要領の「総合的な学習の時間」、「生活科」及び「特別活動」の目標・内容を基に、「生命・自然を尊重する精神」や「郷土を愛する態度」の育成を目指している。

「浦戸探究科」の学習では、豊かな自然環境や文化、伝統、歴史など地域素材を生かした教科横断的な学習の中で、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習

を行うことを通して、よりよく課題を解決し、郷土を愛する心、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てていく。学習においては課題設定の場面を大切にしていける。児童が興味・関心を持って取り組めるようなテーマ設定を行い、地域住民や外部講師に適切につなぐことで、主体的、協働的に探究活動に取り組めるようにする。

小学校1・2学年で実施する「外国語活動」は、英語で積極的にコミュニケーションを図り、英語の音声に慣れさせることをねらいとしている。簡単な表現でのリズム遊びや身体表現などの活動を中心に、現行学習指導要領に記載されている小学校第3学年と第4学年で実施する「外国語活動」の目標・内容に準じて活動内容を設定している。課題としては、教員の授業力や英語力の向上や小中9年間を見通した指導計画の見直しが挙げられる。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- (1) 児童が主体的に探究的活動に取り組めるように、課題を児童の興味・関心を明確化・具体化したものにさせ、必要な物や人材を提供する。
- (2) 児童が「浦戸探究科」で学んだことをまとめ、自分たちが浦戸のためにできることを考え、発信・実践するためにICT機器の活用を支援する。また、児童が主体的に発信しようとする意欲が持てるような場を設定する。
- (3) 地域に感謝し、貢献しようとする態度を養うために、地域住民や外部講師へ感謝を伝える場を設定する。
- (4) 9年間を見通した「外国語活動」「外国語」の指導改善のために、校内研修を充実させるとともに中学校教員、ALTとの連携を密にしていく。
- (5) 「外国語活動」や「外国語」においては、中学生との交流を活発にしたり、学んだことを他学年や保護者、地域などに向けて発表する機会を意図的に設定したりすることで、より意欲的に「外国語活動」「外国語」に取り組むことができるようにする。